

# 一般会計 決算報告

五條市の財政状況を示す平成17年度決算が、平成18年第3回市議会定例会で認定されました。決算は市民の皆さんによって納められた税金や、地方交付税、国庫支出金などがどのように使われたかをまとめたものです。市政を皆さんに正しく理解していただくため、「市の家計簿」である決算の状況をお知らせします。

平成17年度決算については、昨年9月25日の合併により旧西吉野村および旧大塔村の行政経費を引き継ぎ、後半の約半年分の経費が加わり決算を行いました。そのため、そのまま16年度との数値比較はできませんが、旧2村の年間経費を含めた決算での財政指標は悪化しており財政状況は大変厳しい状況となっています。そのため、行財政運営の健全化に向け全庁挙げて行財政改革に取り組んでいます。

## 歳入

三位一体の改革による地方交付税(臨時財政対策債含む)の削減や国庫補助金の一般財源化等により歳入は減少しており、基金の取り崩しおよび市債の発行により財源を確保するなど大変厳しい財政状況となっています。

## 歳出

合併に伴う地域間の格差是正事業や合併関連事業の展開および主要な継続事業の推進を図りました。人件費においては減少となったものの、市債の元利償還である公債費の伸び等が大きく、経常収支比率を大きく押し上げており、ひっ迫した財政状況となっています。

## 実質収支

財政運営の状況を示す「実質収支」は、歳入199億5千4百万円、歳出193億9千万円、差引5億6千4百万円となり、翌年度へ繰越した事業への財源2億1千万円を差引いた実質収支は3億5千3百万円となり、実質単年度収支は5億9千百万円の赤字となりました。

## 市税決算額

市民税	12億3,994万円( 37.7%)
固定資産税	16億1,878万円( 49.3%)
軽自動車税	7,028万円( 2.1%)
市たばこ税	2億0,162万円( 6.1%)
都市計画税	1億5,675万円( 4.8%)
市税合計	32億8,738万円(100.0%)

